

道 徳 教 育

(1) 目 標

- ① 生命を尊び、生きることの喜びを感じとらせる。
- ② 集団の中の個人のあり方を自覚し、社会的責任感を身につけ、正しく判断でき実践していける子どもを育てる。

(2) 努力点

- 望ましい人間関係を大切に学級づくりをする。
- 善悪の判断ができ、他人に動かされない主体性を育てる。
- 自分達の生活をよくするために、自ら問題に気づく子どもを育てる。
- 価値の内面化をはかり、実践力を高めるための授業を工夫する。
- 資料の充実と精選に努める。
- 心のノートを補助教材として活用する。

(3) 道徳教育全体計画

